

令和3年度 看護職員地域確保支援事業（再構築）

事業の概要

【目的】離職した看護職が身近な地域で復職支援研修・再就業支援相談等を受けられる就業支援の仕組みを整備することで、潜在看護職の就業意欲を喚起し、再就業の促進を図る。

【実施方法】東京都看護職員地域就業支援施設（病院・高齢者施設等）、都立看護専門学校において、復職支援研修を実施する。

(1) 東京都ナースプラザ復職支援研修（病院・施設体験コース）

研修場所

東京都看護職員地域就業支援施設 38施設 ※地域の看護職員確保対策拠点施設として病院・高齢者施設等を東京都が指定

- 病院 24施設（12医療圏に各2病院を原則）
- その他施設 14施設（診療所2施設、訪問看護ステーション6施設、介護老人保健施設6施設）

【東京都看護師等就業協力員（支援施設協力員）】
（地域就業支援施設に設置）

- ・再就業希望者へ個々の特性や事情に応じた復職支援研修の実施
- ・本部協力員と連携し、受講者への再就業相談の実施
- ・地域の看護職員確保支援（地域の求人求職に関する情報を収集し、地域の看護職員及び医療施設からの相談に対する助言、情報提供）

内容

- 病院体験コース
 - ・ 1日随時コース
 - ・ 3、5日コース 年2回(クール)
- 施設※体験コース ※診療所・訪看・老健
 - ・ 1日随時コース
 - ・ 3日コース 年3回(クール)
- 東京都ナースプラザ就業協力員が、研修の企画（内容・募集受付）と復職相談を支援
- 都の標準プログラムに沿って講義・手技演習・病棟・施設実習を実施

主な対象者

- すぐにでも復職したい方、まずは今の現場を見学体験したい方
- 最新の看護技術を現場で体験してから復職したい方

実施形態

東京都看護協会（東京都ナースプラザ）に委託して実施
病院・施設への再委託により、研修等に係る委託料を支払う。

研修プログラム内容

日数	1日コース（随時） （病院/訪看、その他施設）	3日コース（病院）	5日コース（病院）	3日コース （診療所、訪看、高齢者施設）
コース	看護の魅力再発見編	復職に向けた病院実習基礎編	復職に向けた病院実習実践編	病院外の施設で、復職に向けた実習実践編
対象	白衣に慣れ、再就業の意欲を持つ方	再就業に向けて少しずつ準備する方	近い将来の再就業を希望する方	近い将来の再就業を希望する方
プログラム	講義・見学・体験をメインとするプログラム	模型を使用した手技演習をメインとするプログラム	病棟における実習をメインとするプログラム	診療所・訪問看護事業所・高齢者施設等でマンツーマン指導をメインとするプログラム
1日目	・オリエンテーション ・「医療・看護の動向等」(講義) ・施設見学・看護体験 再就業支援相談→東京都ナースプラザへ引き継ぎ	・オリエンテーション・交流会 ・病棟の実状に応じた「医療・看護の動向等」(講義) ・病棟見学	・オリエンテーション ・施設の実状に応じた「医療・看護の動向等」(講義) ・施設見学	・オリエンテーション ・施設の実状に応じた「医療・看護の動向等」(講義) ・施設見学
2日目		☆手技演習 (例)・採血・輸液・静脈注射・自己血糖測定 ・薬の知識・フィジカルアセスメント・心電図・吸引 ☆病棟実習 (標準例)・環境整備・バイタルサイン測定	☆施設実習 ・マンツーマン指導(原則) ・必要な知識・技術の学習(含実習)	
3日目		ディスカッション(交流会) 再就業支援相談	ディスカッション(交流会) 再就業支援相談	ディスカッション(交流会) 再就業支援相談
4日目		(助産師例) ・褥婦、新生児、分娩ケア等		
5日目			ディスカッション(交流会) 再就業支援相談	

(2) 学校に戻って体験コース

【研修場所】 都立看護専門学校

【内容】 都立看護専門学校に配置されている模擬病棟や実習室等で、地元の潜在看護職や卒業生に対し、現役の看護教員が研修を実施

【主な対象者】 臨床現場ではない場所で実習したい方
トレーニングモデル等を用い、基礎から看護技術を学び直したい方

【実施形態】 都立看護専門学校の運営費にて実施

再就業までの流れ

